

チャペル週報

No.22

2014.11.17 ~ 11.21

主は言われた。「幻を書き記せ。
走りながらも読めるように
板の上にはっきりと記せ。」

(ハバクク書2章2節)



中央講堂ロビー ステンドグラス

関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

- 11月17日(月) 神 <説教演習B> 確 井 英 俊 (神学研究科M2)
経 人間を考える① 舟 木 謙 (宗教主事)
人 大 官 有 博 (名古屋学院大学商学部准教授)
聖 聖書物語 まいごのひつじ・おとうさん
理 献血実行委員会 (1)
-
- 11月18日(火) ランバスチャペルアワー ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)
神 ランバスチャペルアワーに合流
文 宗教総部によるチャペル
社 「友だち」について④ 関 根 康 正 (社会学部教授)
法 ランバスチャペルアワーに合流
経 人間を考える② 田 禾 (経済学部准教授)
商 English Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師)
国 収穫感謝をおぼえて 平 林 孝 裕 (宗教主事)
聖 新 谷 陽 介 (広報室職員)
理 吉 田 み ち (自立生活センター三田代表)
-
- 11月19日(水) 神 中 道 基 夫 (神学部教授)
社 Chapel in English Alan Brady (社会学部教授)
法 Christian Morimoto Hermansen (宣教師)
経 English Music Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師)
商 山 本 俊 正 (宗教主事)
人 音楽チャペル ゴスペルクワイアP.O.V.
国 望 月 康 恵 (法学部教授)
聖 田 淵 結 (教育学部宗教主事)
理 KSCハンドベル&アンサンブル
総 村 瀬 義 史 (宗教主事)
-
- 11月20日(木) 神 <125周年記念 神学部・中学部 交流チャペル> Julia 碧 Thrasher (中学部教諭)
文 音楽チャペル 青 木 美 緒 (文学部教務補佐)
社 秋の音楽チャペル④ バロックアンサンブル
法 音楽賛美シリーズ1 聖歌隊
経 人間を考える③ 中 川 慎 二 (経済学部教授)
商 山 本 俊 正 (宗教主事)
国 English Chapel Eun Ja Lee (宣教師)
聖 収穫感謝礼拝 土とわたしと人と たけのしたもえ (聖和大卒)
理 小 杉 崇 浩 (NPO法人WELnetさんだ代表理事)
-
- 11月21日(金) 院 打 樋 啓 史 (社会学部宗教主事)
神 有 田 憲 一 郎 (仙台 太白ありのまま舎)
文 English Chapel Andreas Rusterholz (宗教主事)
経 人間を考える④ 山 田 仁 (経済学部准教授)
人 大 和 三 重 (人間福祉学部教授)
聖 児童館実習を終えて 遠 藤 祐 希(保2) 佐 和 愛里紗(保2)
理 献血実行委員会 (2)
-

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 8:20～8:40 ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)
11月21日(金) 学生・教職員の健康のために 久保田 稔(保健館長)

だから、大丈夫

紬 か お り

木枯らしの吹く季節となり、どこか心切なく寂しさを覚える日はないでしょうか。

私は恐がりで心配性なところがあります。大学を卒業後、社会人として早くも3年目を迎え、担当させていただける仕事も少しずつ増え、心優しい先輩や頼もしい後輩の存在に日々支えられ励んでいます。こんなに恵まれた環境にいる私ですが、情けないことに、朝目覚めた時不安が押し寄せ、どうしようもなく気持ちが落ち着かないことがあります。「今日中にできなかつたらどうしよう」「あの人にどう思われるかな」「しんどい、やめたい」など、与えられた新しい1日の始まりにそのように思ってしまうのです。つくづく自分はなんて弱く、心小さい者だなと感じます。そんな時、ある人から言われたことばを思い出します。『人も自然も宇宙もすべてを創られた神さまが、いつもあなたの傍に共にいてくださるから、何があっても大丈夫』

当時、私は高校生で楽しみにしていた念願の留学を目前にして、不安と恐れにかられていました。「ちゃんとコミュニケーションできるかな」「友達ができず授業にもついていけなかつたらどうしよう」今振り返ると些細な悩みだったように思いますが、その時はそんなことがとても大きな壁として感じ、不安で心配でたまりませんでした。しかしこのことばを聞いた時、私はこれまで自分ばかりに目を留めていたことに気付かされ、そして、ちっぽけで無力の自分自身ではなく、天と地にあるすべてのものを創られた神さまを見上げた時に、これまで抱いていた恐れは消え去り、心が平安になりました。

気付かないうちにまた、無力の自分へと焦点が向けられ負のサイクルに陥ってしまう弱い私ですが、そんな時は再び全能なる神さまに目を向け直し、歩んでいきたいと願い祈りつつある毎日です。

おわりに、私が日々励ましを受けている聖書のみことばを分かち合いたいと思います。

主は、あなたを守る方。主は、あなたの右の手をおおう陰。

昼も、日が、あなたを打つことがなく、夜も、月が、あなたを打つことはない。

主は、すべてのわざわいから、あなたを守り、あなたのいのちを守られる。

主は、あなたを、行くにも帰るにも、今よりとこしえまでも守られる。

(詩篇 121:5-8)

お一人お一人の上に、神さまの豊かな祝福がありますように。

(文学部事務室職員)

●ランバスチャペルアワー

学生たちが企画するチャペルです。秋学期の予定は以下のとおりです。

11月18日(火)「ルーテル教会の礼拝」

ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)にて10:35～11:05

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アブロースタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを実施しています。(17:50～18:20 1450教室)

11月主題「[祈り]について」

11月20日(木) 田 淵 結 (宗教総主事)

11月27日(木) Jeffrey Mensendiek (宗教センター宗教主事)

●リトリート at 千刈 ～テゼ共同体のブラザーを迎えて～

フランスのテゼ共同体からブラザー・ギランを講師に迎えて、1泊2日のリトリート(修養会・黙想会)を開催します。一日数回のテゼの音楽を用いた共同の祈りを中心に、ブラザーのお話、グループでの話し合い、個々の黙想の時間などを通して、それぞれが命を深呼吸させる日々。関西学院が大切にしてきた建学のスピリットに、体験的にふれる機会です。ぜひご参加ください。

と き:11月29日(土)～30日(日)

と ころ:関西学院千刈キャンプ

主 催:関西学院宗教活動委員会

申込み・問合せ:宗教センター(吉岡記念館事務室)

●第198回ランバス演奏会

「シェイクスピアの音楽とイギリスのキャロル」

平井満美子/ソプラノ 佐野健二/リュート、オルファリオン

と き:12月4日(木)17:00開演(16:30開場)

と ころ:ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

<入場無料>

平井満美子と佐野健二のデュオは世界でも数少ないルネサンス、バロックリュート歌曲のスペシャリストです。ランバス演奏会には1998年から毎年イースターとクリスマスシーズンに出演しています。

●夕べの祈り at ランバス ～テゼの音楽とともに～

ろうそくの光を灯して、テゼの歌を歌いながら、皆でこころ静かに過ごす夕べの祈りのひととき。どなたでもご参加ください。

第3回 1月8日(木)18:30～20:00

と ころ:ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)

主 催:夕べの祈り準備会(学生有志)

協 力:関西学院宗教活動委員会

●CD・DVDライブラリー

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員(学生証または身分証明書必要)であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

●使用済み切手収集にご協力ください

本学では日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。

●盲導犬育成のためご協力をお願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室はじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。

●「関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール」チケット販売のお知らせ

恒例の関西学院最大のクリスマスイベントが大阪のザ・シンフォニーホールで開催されます。参加費は宗教活動委員会を通して関連団体に献金させていただきます。

開催日時:12月22日(月)17:30開場 18:30開始

参加費:2000円 当日座席指定(16:30より)

チケット販売:関西学院大学生協/チケットびあ/ザ・シンフォニーチケットセンター/サークルKサンクス/ファミリーマート